

BIG SIGHT

東京ビッグサイト
広報誌

2012
No.30

新しい未来を開く「出会い」と「感動」を…

Special Edition

東日本大震災と向き合って

inFocus

24年ぶりの東京開催!

東京モーターショーに84万人が来場





代表取締役社長 島田健一

新年明けましておめでとうございます。

平成 24 年の年頭に当たり、昨年を振り返りながら三点ほど申し述べさせていただきます。

第一に、昨年の 3 月 11 日の東日本大震災です。被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げるとともに、1 日も早い被災地の復興を願うものです。

東京ビッグサイトも、地震発生当日の帰宅困難者対応、その後の避難所として被災された方々の受入、夏期の節電対策など、対応に追われました。こうした中、展示会の中止や規模縮小など困難な状況が続きましたが、関係者の皆様と力を合わせ、5 月からは通常の運営に戻すことができ、下半期には前年を上回る稼働状況にまで盛り返すことができました。

今回の地震を経験し、改めて、災害発生時の冷静かつ臨機応変な行動、その後の事業継続のための迅速な対応の重要性など、多くの教訓を学びました。引き続き、一層「安全・安心なビッグサイト」の構築を目指してまいります。

第二に、大震災からの復興を目指す日本にとって、厳しい経済状況が続いています。この状況を乗り越えていくため、関係者の皆様と共に、展示会の活性化を図り、日本の産業振興の後押しをしていかななくてはなりません。

東京ビッグサイトでは、昨年も多くの展示会が開催されましたが、ひとつだけ取りあげさせていただくとすれば、24 年ぶりに東京に戻ってきた「第 42 回東京モーターショー 2011」は、連日マスコミでも大きく取り上げられ、前回を超える 84 万人の来場者をお迎



えしました。環境技術を柱にした日本の自動車産業の復興と期待を世界に発信するとともに、来場者の皆様には、展示会の持つ楽しさ、美しさなどを再認識していただけたと思います。

一方で、臨海副都心の各企業が連携し、「花火」や「レストランの割引」など、「地域で盛り上げるモーターショー」を実践しました。こうした、皆さんの心を元気にさせる展示会を、もっと開催させたいものです。

第三に、国際化・グローバル化の進展です。TPP への参加の可否が議論されております昨今ですが、産業の国際化は否応なく進んでおり、展示会産業も例外ではありません。展示会の老舗である欧州勢、エネルギッシュな米国、そして中国をはじめとする成長著しいアジア諸国が展示会を梃子にした自国の産業振興に積極的になっております。そんな中、ドイツの展示会協会が 2010 年の展示会関連団体の売り上げ世界ランキングを発表し、東京ビッグサイトはアジアで 1 位、世界で 15 位となりました。今後とも、東京ビッグサイトは日本を代表する展示会場として、「がんばろう！日本」の原動力となってまいります。

以上三点申し上げましたが、これからも皆様におかれましても、より一層のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の今年一年のご多幸、ご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



震災対応から被災地支援まで 東日本大震災と向き合って

平成 23 年 3 月 11 日、私たちを突如として襲った未曾有の大震災。東京ビッグサイトは、発災直後からその後の支援まで全力で取り組みました。

1. 帰宅困難な方々を受け入れて

震災当日は、ほぼすべての交通機関が運行を中止したこともあり、多くの方が帰宅困難な状況となりました。

東京ビッグサイトでも、2,000 人を超える方々のために施設を開放し、館内放送やテレビによる情報提供、食糧の配布などを行いました。



2. 避難所の開設・運営を通じて被災者を支援

東京都では、震災に伴い避難される方を都内各所で受入れました。

東京ビッグサイトでは、3,000 人を収容可能な避難所を提供するとともに、近隣レストランと協力して食事を提供するなど、全面的に協力しました（平成 23 年 3 月 22 日～4 月 24 日）。



3. 地産品で被災地を応援

震災により甚大な被害を受けた東北 3 県（福島、岩手、宮城）の地産品を展示しています。ご来場の際は、是非お立ち寄りください。

※この取組は、東京都の企画による被災地の産業支援・観光PR事業であり、当社が展示ブースの設営や運営を行っています。

期 間 平成 23 年 10 月 19 日～平成 24 年 3 月 31 日
(イベント開催時のみオープン)

時 間 10:00 ～ 17:00

場 所 2F エントランスホール プロント前

展示内容 会津塗の漆器などの各県地産品、
各県観光PRポスター 等



● 地産品販売

同 3 県のご当地レトルト食品、ジャム、和菓子、野菜などの販売も実施しました（平成 23 年 10 月 26 日～28 日、12 月 2 日～11 日）。

特に、東京モーターショー期間中は多くの方々にご購入いただきありがとうございました。

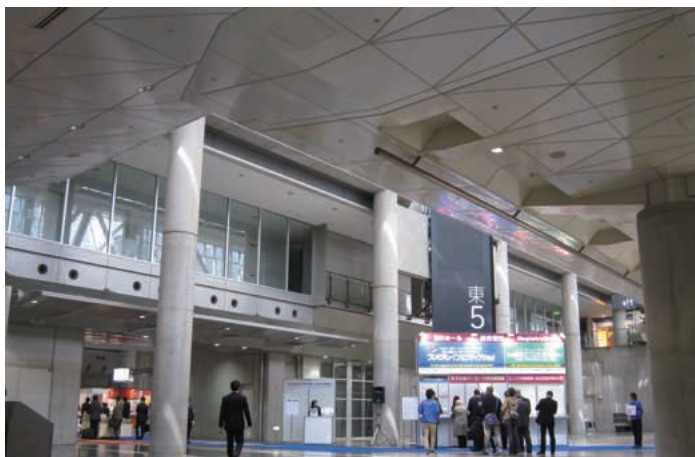
4. 危機管理マニュアルを改定

今回の震災では、発災時における主催者の皆様との連携の大切さを改めて痛感しました。発災時対応の経験を踏まえ、「危機管理マニュアル」における主催者との連絡体制・役割分担、避難経路図、誘導ポイントなどについて見直しました。



5. 主催者の皆様と協力した節電対策を実施

昨年夏には、最大使用電力の前年比15%削減の取組を国から求められました。そのため、主催者の皆様のご理解ご協力のもと、照明の減灯、空調やエスカレータ、動く歩道の一部停止などを実施し、期間中約20%の削減が達成できました。



6. 地域の高度な防災力が背景に

東京ビッグサイト及び周辺の建物は、耐震構造であり、敷地及び周辺の土地には、液状化対策として地盤改良が施されています。

こうしたことから、東京ビッグサイトを含む近隣地域では、今回の震災による被害は最小限で済みました。





第42回東京モーターショー 2011 24年ぶりの東京開催に84万人が来場

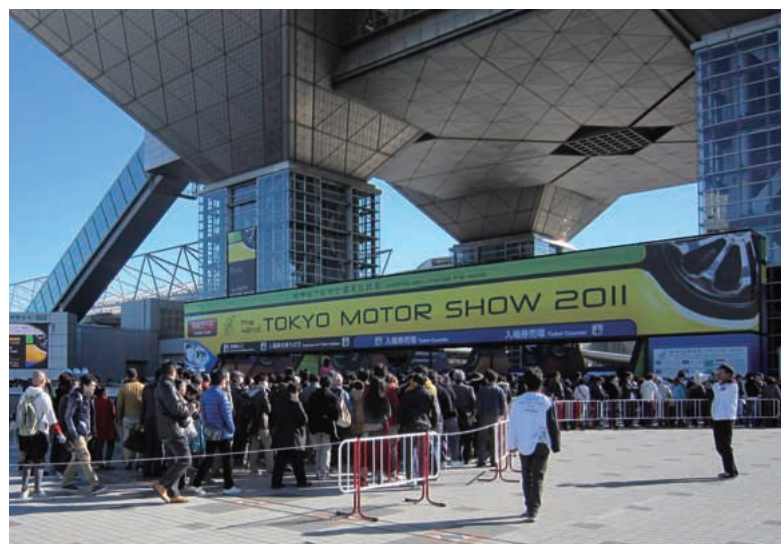
2011年12月2日(金)～11日(日)開催

「第42回東京モーターショー2011」(主催:一般社団法人日本自動車工業会)が、昨年12月2日(金)から11日(日)までの10日間、東京ビッグサイトで華やかに開催されました。

今回は、実に24年ぶりの東京開催となることから、国内外を問わず、多くの注目を集めてきました。「世界はクルマで変えられる。」をキーワードに、最新のエコカーや次世代自動車などが展示され、10日間で842,600人もの来場者をお迎えすることができました。

当社は、本ショーの運営全般を担うとともに、近隣企業などのご協力を得ながら、ショーの成功に向けて全力でサポートしました。

来場者の皆様からは、“子供も大人も楽しい”“街ぐるみのイベントで遊びに来るのが楽しくなる”“ワクワクする”など、たくさんの明るい声を聞かせていただきました。



■ 近隣企業との連携



(働くくるま大集合!!)



(お台場レインボー花火)

日本の文化・技術を海外へ発信①

昨年6月、フランス・パリで開催された「ジャパンエキスポ」で、ネイル、漫画など、日本のポップカルチャーを紹介しました。東日本大震災の直後ということもあり、元気な日本をPRしました。現地の方々からは、日本に対する大きな声援をいただきました。



日本の文化・技術を海外へ発信②

昨年8月、中国・上海で開催された「上海国際ギフト展」で、公益財団法人東京都中小企業振興公社と連携して都内中小企業の海外販路開拓を支援しました。会場では、日本の高い技術力を活かした伝統工芸の江戸切子（ガラス製品）などに人気が集まりました。



新春イベント紹介

開催 予告 東京マラソン2012

2月26日(日)、東京ビッグサイトにフィニッシュ!

国内最大規模のマラソン大会「東京マラソン2012」ですが、今年も国内外よりエリートから市民ランナーまで36,000人が集まり、都内各所でさまざまなレースが繰り広げられます。

コースは、東京都庁をスタートして、飯田橋～皇居前～日比谷～品川～銀座～日本橋～浅草雷門～築地～豊洲、そして、フィニッシュ地点である東京ビッグサイトまでの42.195キロ。

今回は、マラソン定員やチャリティランナーの増加など募集方法が多様化したことや3回目となる「東京マラソンファミリーラン2012」も開催されるなど、さらにスケールアップしています。

また、本大会は2007年の開催以来、毎年多くのボラ

平成24年東京消防出初式

新春恒例の防火・防災行事をバックアップ

新しい年を迎えた1月6日(金)、防火・防災行事として親しまれている東京消防出初式が、今年も東京ビッグサイトに開催されました。

近年、国内外において大きな災害が目立ちますが、そうした被災地で活躍する東京消防庁職員の姿を目にする機会も増えています。

出初式では、東京消防庁職員や消防団員、一般市民等も参加した消火・救助・救急演技のほか、機械部隊分列行進や江戸消防記念会による伝統の木遣り行進やはしごのり、東京消防庁音楽隊・カラーガーズ隊の演奏・演技などが、集まった多くの人たちの前で披露され、ときに大きな歓声があがっていました。

また、消防車両の乗車体験や起震車による地震体験など、楽しみながら防災を理解できるコーナーが設けられ、たくさんの来場者で賑わいました。

公式サイト<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/inf/h23/10/dezome.html>



(写真は平成24年の出初式の模様)

ンティアや応援する人たちの心をつないで大きく成長してきました。昨年からは、さらに多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し、“つなぐ”をテーマにしたチャリティも大いに盛り上がりを見せています。

公式サイト <http://www.tokyo42195.org/2012/>



(写真は平成23年の東京マラソンの模様)

大規模改修工事進行中

安心・安全・快適な施設設備のご提供を目指して

平成23(2011)年4月に開業15周年を迎えた東京ビッグサイトは、施設の更新時期を迎えています。平成21(2009)年末から、10力年に及ぶ大規模改修工事をスタートさせ、施設設備の経年劣化対応や、快適性の向上、省エネの推進のための工事を順次進めています。

工事中は、何かと皆様にご不便ご迷惑をおかけいたしますが、安全に十分注意して進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

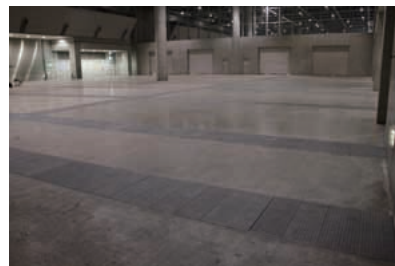
■レセプションホールのリニューアル

レセプションホールの音響設備や同時通訳設備の更新により、今まで以上にクリアな音質を実現しました。また、舞台照明設備の更新やLED照明の増設にも取り組みました。今後は、カーペットの全面更新を予定しています。



■展示ホール床面の全面補修

展示ホールの床には、これまでに30万本以上のアンカーボルトが打ち込まれ、傷みが顕著になってきました。このため、床の全面的な補修工事に取り組んでいます。



■トイレ設備の快適性向上

多目的トイレにはオストメイト設備を導入し、男子トイレには親子トイレを新設する工事に順次着手しています。同時に、展示ホール内の一部のトイレについては、男女のトイレ間に可動間仕切りを設置し、需要に応じて広さや個室数の変更に対応できるよう改良を進めています。このほか、人感センサーにより、使用していない時には照明が自動で消灯する機能の付加や、便器や壁などに汚れが付きにくく清掃のしやすい素材を取り入れるなど、様々な工夫も施しています。



■省エネの推進

エントランスホールのガラス屋根に、直射日光の差し込みを防ぐための反射塗料を塗布しました。また、共用部においては、ダウンライト照明のLED化などに取り組んでいます。さらに、展示ホールにおいては、必要な場所の照明だけを点灯し、不要な場所を消灯できるようなブロック点灯方式を順次導入してまいります。こうした取組により、照明用電力は約540kW削減される見込みです。

